

第2回ワークショップ(H18.8.19)振り返りシート集計

	Q1講演会はいかがでしたか 1よく理解できた 2大体理解できた 3部分的に理解できた 4分からなかった	Q2久喜市民の条例制定への取組みについて、どのように感じましたか	Q3北本市の「住民自治条例」は、どのように作ったらよいと思いますか
1	2	初回98名の参加が最終的に約半分になったとのこと、それだけ真剣に取り組まれたという事がわかります。本当に我が町を良くしたいと思う気持ちがある人ががんばって来た...はたして北本の場合は??	まだ何をどの様にと具体的には考えられませんが北本に住んでいながらコミュニティにも入っていない人達もいます。全市民が入りずっと住める町になってほしいです。
2	3	公募で集まった人々が多くいたことに感心しました。	住みつけたい町で会っていくために、環境と福祉を充実した北本市であって欲しいと思います。他市にほこれる条例を作れたらいいと思っています。
3	2	条例の中の特色の例、もう少し詳しく内容を知らたかった。各種条例とのつながり方は?	市民参加、公設民営の進め方、地域コミュニティの有り方、生涯学習市民大学について、緑地公園等の有効活用
4	2		
5	3	大変よくできていると思いますが、もう少し具体的な(部門別)説明が欲しかったのと現在も進行中との事 これから参考にして行きたい	第1回目を欠席したためにもう少し勉強しなければと思います。主旨をもう少し振り返りたい。
6	3		各地区公民館にて一般の方にも説明して1人でも多い(意見をきいてもいいですか)
7	3	久喜市民の熱意を感じた	第1回研修会に参加していなかったため、住民自治条例を作る意味、必要性についてよく分からない。もっと勉強する必要があると思う。
8	1	久喜市の市民活動は、これ以前あまり活発ではなかったのではないかと。北本の場合は環境基本計画の制定の時の市民の役割や活動実績からいって、久喜市よりはスムーズに進むのではないかとと思われる。	短時間では書けない
9	2	よく努力されたと思う。何人かのリーダー(引っ張ってくれる人)が必要と感じた	まだよく理解出来ていない。これから勉強します。
10	2	スタート時点で地域の住民参加意識のレベルが市民大学や高齢者大学等の長年の成果によりかなり高かったのではと思いました。今後は、多くの市民の方々へ条例が受け入れられ、活かされていくことを期待しています。	・名称の検討をお願いします ・市民参加による自治意識を持つため、必要な情報がどんなものか、個人的にまだまだ学ばねばならないと思っています。現在、市内にどのくらいの市民会議や審議会等があるのか知りたいと思いました。北本について知りたいです。
11	2	市民の参加が前提になり、運営委員会などの会の進め方が参考になった。	市民参加が大前提になっているので、どこまで参加を得られるか、次に自分のまち「北本」を知るところから始める。「行政のここが問題」「市民のここが問題」是非やるべき、ここから次へ
12	2	鈴木さんの意気込み(熱意)がわかった。	今後、勉強して提言できたらよいと思う。
13	3		まちづくりをテーマに
14	2		1北本市に現存する各種条例を知ること(説明していただきたい) 2上記の関連をどうするのか 3足りないものは何か?廃止したらよいものは何か? 上記を知った上で検討を進めることが必要と思われる。
15	3	条例の基本が制定されたが、今後の条例の成長過程に関心を持って見守りたい	今回初めて参加し、話を聞いたところであり、理解不足のため自分の考えはまだ持っていない。今後興味を持って勉強したい。
16	1	条例制度の前後について記述があれば変化が確認できたのではないかと。条例が制定されて何が変わったか?	現在の条例が理解していないので先ず勉強が必要と思う。何が不足か、何が必要かを検討する事が必要と思う。
17	2	初めから終わりまで大変だったように聞きました。参加者もそのつもりでガンバラねば。	他市のよい条例を良く理解して、あまり遠回りしないで行けたら良いと思う。その中に北本で必要なものを取り入れていけばと思います。他の市と同じように楽な気持ちで取り組みたいと思います(北本市が特別な町ではないから)。
18	3		初めて参加してまだよくわかりません
19	3		
20	2		条例の必要性のワークショップでの討論
21	3	行政指導でスタートし、96人も人が集まったにもかかわらず、目的の期間に目的を達したには世話人運営委員に相当力のある人がいたからと思った。	初段の北本市が何たるかの分析をしっかりと行い、北本市の姿に対するワークショップメンバーの統一見解を得ることが大切と考える。その上で北本市の将来の姿もメンバーでつくり上げ、それへ向かっての条例と位置付け、条例の作成に臨むべきと考える。

第2回ワークショップ(H18.8.19)振り返りシート集計

	Q1講演会はいかがでしたか 1よく理解できた 2大体理解できた 3部分的に理解できた 4分からなかった	Q2久喜市民の条例制定への取組みについて、どのように感じましたか	Q3北本市の「住民自治条例」は、どのように作ったらよいと思いますか
22	2	たいへん意欲的に取組まれたからこそ短期間で条例施行に至ったのだと思いました。	前向きな考えが出てこないで申し訳ありませんが、ご講話の中にあつた市民へのアピールがもっと必要かと思ひます。自分自身も0(ゼロ)から(マイナスかもしれません)の出発なので、まず意識改革を目指します。
23	2	1多くの方々と多面的に検討した様子がよく理解出来た 2条例制定までのプロセスの話であったが、条例の内容についても聞きたかった。	無作為に選んだ500人位の方からアンケート(要望)を取り、北本住民の条例として市民の求める盛り込んでおきたい事項を把握する。その中から選別し、一番適切なものを条例に盛り込む。
24	2	市民ワークショップのリーダー、人材が豊富であったので成功したのかなと思ひました。	・納税の義務(平等の原則) ・地域運営の原則(住民の自治会入会・コミュニティ活動の強化)
25	2	ワークショップ、研究懇話会、行政、市職員研修会、議会との関連・調整の経過やりとりなどを1つの流れに(startからendまで)即して、そのときどきの問題と結果を洗い出して具体的に講話していただけたのではないかと。	「北本市の現状と問題点をまず、話し合い、市民(参加者)の意識を掘り下げる」事をまず実施する
26	2	市民が自ら制定した条例と感じた	これらの問題(含 市民の行政参加意識も含めて)解決のためにどういう内容の基本条例を作るか研究会を重ねていくとよい
27	2	制定された条例そのものが提出(資料)されていないので具体的に意見を申し述べられない	さまざまな人(老若男女)意見を多く取り入れた条例としていければよいと思ひます。
28	3		先ず市民に意図を明確にすること(第1段階) 市民の参加を啓発する(第2段階)
29	2	スタート、取組みはじめて2年余りで制定にゴール 日々の努力、人の和に頭が下がります。	基本では北本市の条例の勉強して...
30	2	・グループリーダーの選出...と委員長の情報交換 ・「研究懇話会」との情報交換等の活用が生かされたプロゼクトチームだったと思ひられる	・「研究懇話会」のメンバーは学識経験者をリーダーとして文章の作り方等を「条文としての表現」 ・ワークショップは久喜市は中学2年生の文章であったがそれで充分。 ・「研究懇話会」はワークショップの文の作成助言化 ・ワークショップは底辺市民の立場で「研究懇話会」は高い時限 ・最後は両会の協議を重ねる
31	1		市民、市などそれぞれの役割を明確にし、その役割を踏まえ、制定手続を進めていくべきであると思ひました。
32	2	話では最初98人でスタートで、最後には50人位となったとの事で、これから先、北本市でも難しいと感じた(若い人が少ない)。	久喜市での事例で、市民ワークショップと研究懇話会があつたが北本ではどうするのか? 市民ワークショップが最後の条例までいった方がいい。法規は市の担当が審査する。
33	2	今回の講義は、レジュメや検討の流れも資料にあり、とてもわかり易かつたと思ひます。世話人(運営委員会)、市民、市議会議員いろいろ人の意見を上手にミックスして出来あがつたんだと思ひました。	久喜市を参考にし取組むことはよいと思ひますが、北本市は北本市として取組んでいただきたいと思ひます。「住民自治条例」この言葉だけを見ると、女性や子供達にはたいへん難しいと思ひます。もっとわかりやすく老若男女を問わず意見が出せるものにして欲しいと思ひます。
34	2	市民が積極的に条例制定(条例案)まで参加、参画した事に関しておどろきである。当北本市民が最後までやれるか?であるが最後まで努力します。	制定までの間に全市民に対して全て公開、公平、公正で持っていくたい。(広報活動を積極的にやる)
35	1	今回の講演はよくわかりました。印象的だったのは、何が変わるかといえは何も変わらない。変わるのは市民、かかわつた人たちが変わっていく、変わっていくなければいけないのではという言葉でした。	北本市では、学習センター等の運営を指定管理者制度を導入すると聞いています。地域の核となる場所が市内の8つの学習センターであれば、現行の機能がそのまま移行されるかどうか、多々問題があると思ひます。「地域のコミュニティをどうやって作っていくか」「公共の原則の考え方」などについて制定までの間に取組んでいけたらと思ひます。
36	3	たいへんな作業であつたと思われた。	これから勉強していきたい。
37	1	良いモデルケースと思ひます。参考にすべきと考える。但し、北本は北本の取組みをするべき。	
38	2	・鈴木委員長の姿勢、熱意に敬意 ・条例の具体的な内容を知りたかつた(制度の目的、条文etc.)	・久喜市の場合は1年半の期間をかけたとのことだが、本市の場合は9月以降2回ワークショップ開催で急いでいるように思ひますが、時間をかけた方がいいのでは。 ・なにぶんにも初めての取組みなのでともすると先進例の模倣になりがちを危惧する。久喜市のようなミニ講座、勉強会の開催が必要ではないか。
39	3	市民の理解を得るために出前講座、ピラ配布、小中学生に標語、作文等参加させた、全市民に理解させる	運営委員会を立ち上げる人選をまずしなければいけないのではないかと

第2回ワークショップ(H18.8.19)振り返りシート集計

	Q1講演会はいかがでしたか 1よく理解できた 2大体理解できた 3部分的に理解できた 4分からなかった	Q2久喜市民の条例制定への取組みについて、どのように感じましたか	Q3北本市の「住民自治条例」は、どのように作ったらよいと思いますか
40	1	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ワークショップ、研究懇話会が相互に連携しあい、キャッチボールをしながら議論を深めたことを、点を参考にしたい。 ・市民参加、参画、協働の在り方として、具体的な内容を整理して明確化すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北本市の市政運営における市民、行政の役割や責務を明確化する。 ・基本理念と基本的ルールを定めた自治基本条例を制定してもらいたい。 ・地方分権に対応する条例の整備 ・真の住民自治を実現するため、住民意思の施策、連携、協力を図ることは重要でありますので、情報公開制度の充実強化をお願いしたいと思います。
41	1	久喜市の実例で市民が大変な役割を果たしているのを聞いて、北本の条例制定のステップが具体的にどの様なものか、自分自身がどの様にかかわるのか心配（プロセスをもっと明確化する必要あり）	<ul style="list-style-type: none"> ・老人、若人、男、女、大人、子供、大部分を市で過ごす人、東京で働き夜だけ帰る人等々多くの視点からチェックして広く受け入れられる様にしたい ・単なる財政減だけを目的としない ・個人的には子供が（を）安心して育てられる町にする事（少子化対策） ・協働というまいサイクルをつくりたい（子供が与える 老人が受ける 大人が協働 子供が受ける）
42	2	基本条例は憲法で法律、条令が必要でそれにとりかかっている点、息の長いワークショップになる	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の「まち」を知ることが必要 ・総合振興計画を知って市の方向を知る ・財政を勉強して問題点を出す。 ・行政評価etc. ・情報公開 市と関係の深い団体（人的・金銭的）
43	3	運営委員長さんの苦勞がわかりました。	住民に基本条例制定について広く知らせてください。
44	2	すばらしい取組みであった	情報の共有（情報の公開）特に「市民意識についての情報を公開する仕組み」について条例に取り組むこと（ex 北本市独自の統計調査等を実施することの保障について）
45	2	よく努力したと思います。	
46	3		<ol style="list-style-type: none"> 1 PDCAと5W1Hを盛り込むべきです。 2 市行政の情報公開を実施して内容検討の資料とすべきです。（将来にシステム改善を行った場合の比較資料として活用する為）
47	3	市民の参加が多く羨ましいなと思った	北本市ではそれだけの参加者が居るのだろうか
48	2	先行した理由、背景は何だったのか？	少しユニークな進め方をしたいですね！

1よく理解できた	7
2大体理解できた	26
3部分的に理解できた	15
4分からなかった	0